

DI 委員会トピックス

タイトル

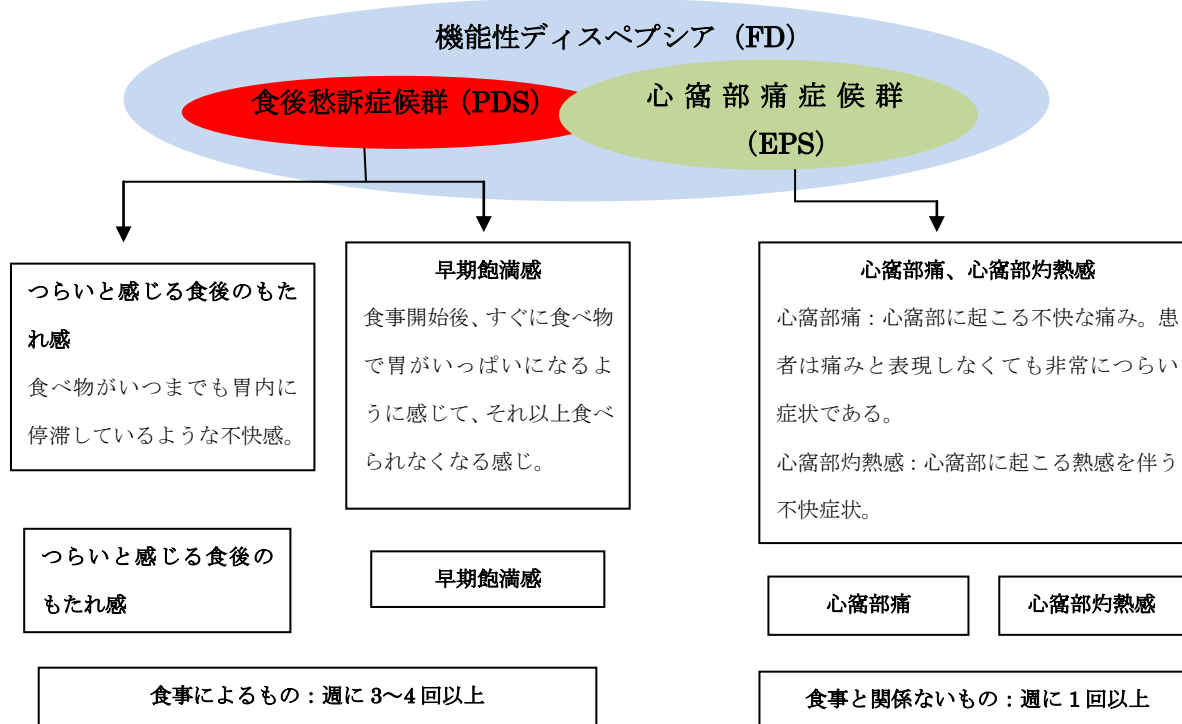
機能性ディスペプシアとアコファイド錠について

概要

機能性ディスペプシア (FD:Functional Dyspepsia) とは、検査しても胃に消化性潰瘍や癌などの器質的疾患が認められないにもかかわらず、胃もたれや胃痛などのつらい症状があらわれる機能性疾患である。

(国内における FD の有病率は 10~20% と言われており、FD 患者さんの中には、症状の再発と消失を長期間繰り返す場合もある。また、FD は致死的な疾患ではないものの、患者さんの QOL に及ぼす影響は大きく、労働生産性の低下につながる重要な要因となっていることも指摘されている。)

○食後愁訴症候群 (PDS) と心窩部痛症候群 (EPS)



○FD 診断のポイント

十分な問診 (病歴・病状への質問) の他、健診結果等を含め、上部消化管内視鏡検査、X 線検査、腹部超音波検査、便潜血等の検査により、胃癌等の悪性疾患を含む器質的疾患がない事を事前に確認することが、FD 診断のためには重要である。

○アコファイドについて

<効能・効果>

機能性ディスペプシアにおける食後膨満感、上腹部膨満感、早期満腹感

<用法・用量>

通常、成人にはアコチミド塩酸塩水和物として1回100mgを1日3回、食前に経口投与する。

<作用機序>

アセチルコリンエステラーゼ（AChE）を阻害し、副交感神経終末から遊離されるアセチルコリン（ACh）の分解を抑制することで、シナプス間隔におけるACh量を増加させると考えられ、消化管機能改善作用を示す。

参考

木下芳一ほか：日本医師会雑誌：141（特別2）：S176、2012

El-Serag HB, et al : Aliment Pharmacol Ther 19(6):643,2004

Enck P, et al : Scand J Gastroenterol Suppl 231:48,1999

Tack J, et al:Gastroenterology 130(5):1466,2006

ゼリア新薬工業ホームページ (<http://www.zeria.co.jp/>) またはアステラス製薬ホームページ (<http://www.astellas.com/jp/>)